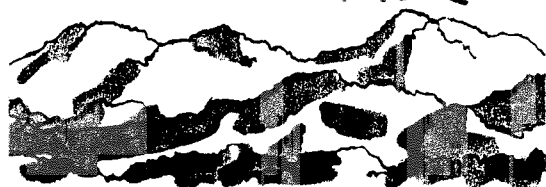


お国自慢


Hitz 日立造船

大館周辺広域市町村圏組合

秋田県大館周辺広域における 民設民営のPFI事業

……大館クリーンセンター……



1. はじめに

大館周辺広域市町村圏組合（大館市、比内町、田代町の1市2町で構成）にて発生する可燃ごみは、昭和57年に大館市字沼館道南で整備された焼却設備で共同処理されています。この既存焼却施設は、稼動後20年以上を経過していることなどから新施設の建設が必要となっており、新たに整備する焼却施設の建設・運営については、これまで通り公設公営で行うのではなくPFI（Private Finance Initiative：民設民営）方式により行いました。

PFI方式は、英国で生まれた考え方であり、「小さな政府」や「民営化」等行政財政改革の流れのひとつです。我が国では公的債務の深刻化に鑑み1999年7月に「民間資金等の活用による工場施設等の整備等の促進に関する法律」が制定されています。（以下、「PFI法」という）PFI法は、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい公共事業手法を用いて、国や地方公共団体が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスを提供することを目的としています。

本事業はPFI方式で実施される廃棄物処理事業としては全国で初めての案件であり、当社の

グループ企業であるエコマネジ株式会社が事業主体となり取り組んでいます。

なお、1市2町は6月20日合併し、新「大館市」として発足します。

2. 施設の特徴

広域組合構成市町で収集される可燃ごみ及び破碎残渣をごみ処理設備で焼却するとともに、生じた焼却灰及び焼却飛灰を併設する灰熔融設備で熔融します。本施設から発生する熔融スラグはできる限り有効利用することを計画しています。また、施設内で発生する余熱は場内給湯、場内道路のロードヒーティング（ランプウェイなど）に利用します。

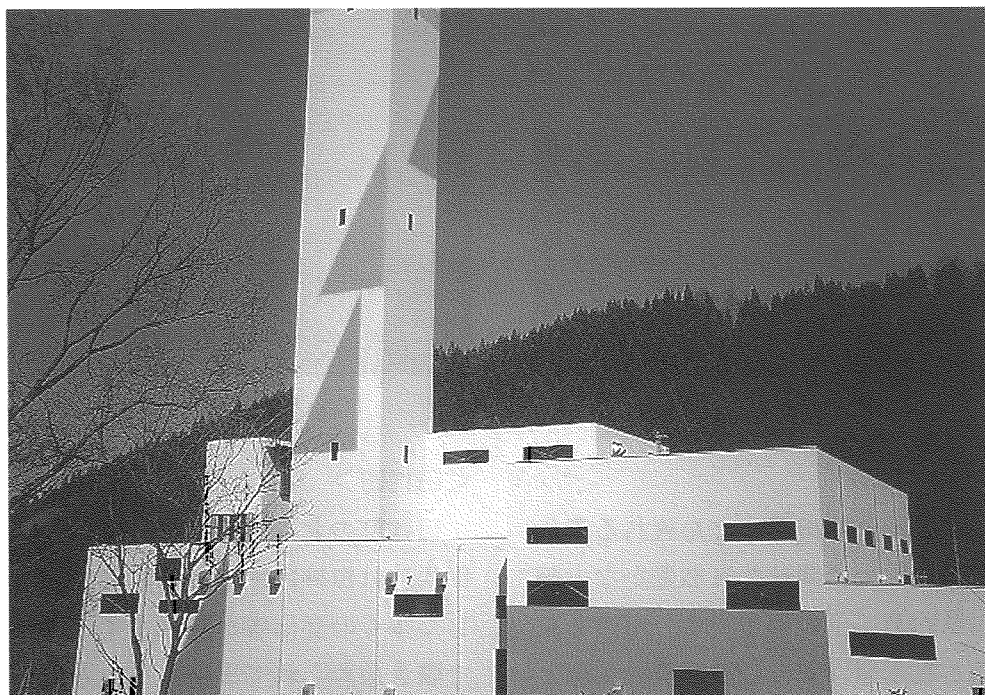
3. 施設の主な整備

(1) 焼却炉

24時間連続で運転可能な全連続燃焼式焼却炉で、処理能力は90トン/日（45 t/日×2系列）を保有します。燃焼室温度は850℃～950℃とし、完全燃焼を行います。

(2) 排ガス冷却設備

燃焼後の排ガス冷却は、水噴射式を採用する



大館クリーンセンターの概要

所在地	秋田県大館市雪沢字又右工門沢 49 番地外	工期	平成 15 年 10 月～平成 17 年 7 月
発注主体	大館周辺広域市町村圏組合	運営開始	平成 17 年 8 月から 15 年間
事業主体	大館エコマネジ株式会社 エコマネジ株式会社ほか出資 平成 13 年 8 月設立	焼却設備	水噴射型ストーカ式焼却炉 90t/24h (45t/24h × 2 炉)
敷地面積	16,600m ²	溶融設備	バーナー式灰溶融炉 14t/24h (14t/24h × 1 炉)
延床面積	3,700m ²	設計施工	日立造船株式会社

とともに、熱交換器を利用して燃焼用空気を加熱するなどシステム内で熱の有効利用を図ります。

(3) 排ガス処理設備

焼却炉の燃焼室において高温無触媒脱硝装置で尿素を吹込むことで窒素酸化物を除去し、排ガス中に消石灰と活性炭を吹き込み、硫酸化物、塩化水素を煙道及び集じん器（バグフィルタ）ろ布上で固体状物質に変換・捕集することにより、煙突から排出される有害ガスやばいじんを除去します。

(4) 余熱利用設備

燃焼後に発生する高温排ガスの余熱を利用し、場内給湯や冬場の場内道路を融雪するロードヒーティングに利用します。

(5) 灰溶融設備

灯油を利用したバーナー式溶融式灰溶融炉を設置し、処理能力は 14 トン/日を有します。溶融温度は 1,200℃以上とし、ごみ焼却後に生じる焼却灰と排ガス中から取り除いた焼却飛灰を溶融し、溶融スラグ化します。

(6) 排水処理設備

プラントから発生する排水は、排水処理設備で中和凝集沈殿式によって処理され、処理水は排ガスの冷却等に使用します。

(7) 煙突

煙突は高さ 59m とし、周囲の景観に配慮し、周辺のスギの木をイメージしたデザインを採用しています。



米代川（比内町）



大館能代空港（あきた北空港）

＜大館市＞

大館市は、秋田県東部出羽山地を流れる米代川と長木川の清流沿いに開けた自然豊かな大館盆地にあり、県内第二位の都市です。市内を東から西に流れる長木川は多くの溪流美の名所として広く知られており、長木溪流や四十八滝などの景観は素晴らしく、新緑や紅葉の季節には全国各地から多くの観光客で賑わいます。施設から市内へ向かう樹海ライン（県道大館十和田線）沿いには木造の樹海ドームがあり、スポーツなどのイベントが開催されます。

また、忠犬ハチ公のふるさととしても有名で、秋田犬会館では国の天然記念物に指定されている秋田犬に関する資料が一堂に集められています。また、JR 大館駅に降り立つと、秋田犬の像があります。駅弁の鶏めしも人気の一つです。

＜比内町＞

比内町は大館盆地の南東部に位置して、町の北部は日本海に注ぐ米代川が流れ、南部には森吉山に続く広い山地に覆われています。「比内」の語源はアイヌ語の「ピルナイ」（良き沢の意味）といわれており、農耕に適した土地であったことがうかがわれます。そして、その環境で飼われていた国の天然記念物に指定されている比内鶏の原産地でもあります。味と品質にこだわった原木しいたけは、比内鶏と共に、秋田県の郷土料理であるきりたんぽ料理には欠かせない食材となっています。

＜田代町＞

田代町の北端、青森・秋田の県境に位置する田代岳は白神山地の最も東に位置し、登山口として多くの登山客が訪れます。また、山瀬ダムで堰き止められて出来た五色湖があり、キャンプ場などの自然豊富なアウトドアスペースとして親しまれています。

また、町内の十ノ瀬山にはハンググライダー基地があり、大会も開催され、町の空には色鮮やかなハンググライダーが優雅に飛び交います。



秋田犬の像（大館市）



樹海ドーム（大館市）